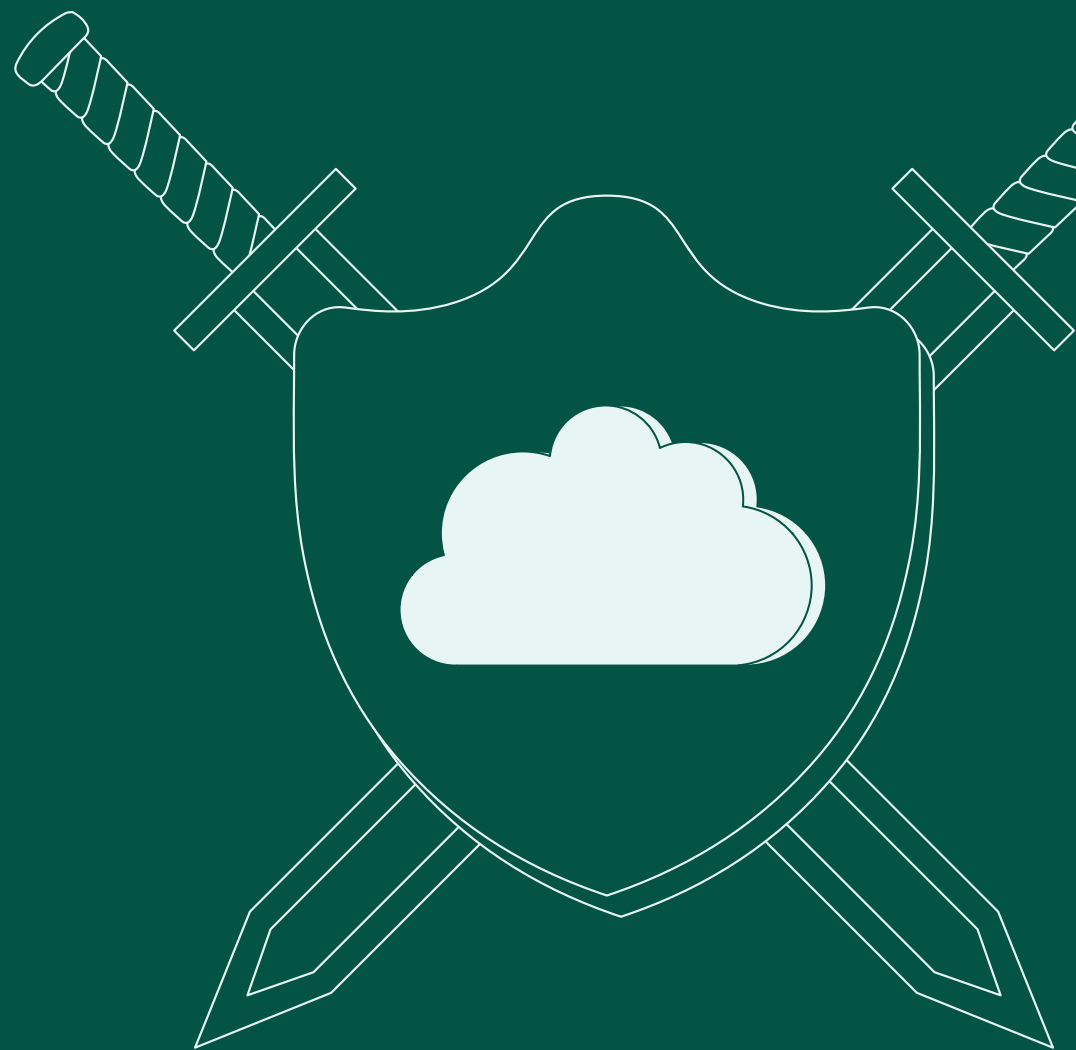


# クラウドにまつ わる5つの神話 を覆す

クラウドについて、聞きたくても聞  
けなかったあれこれを、まとめて解  
決します。



# 目次

3 はじめに

## 神話 1

7 「クラウドは自社でコントロールができない」

## 神話 2

8 「自社環境が複雑すぎてクラウド化できない」

## 神話 3

9 「規制産業の企業はクラウド化できない」

## 神話 4

11 「自社のデータセンターに保管しないと信頼性やレジリエンスが得られない」

## 神話 5

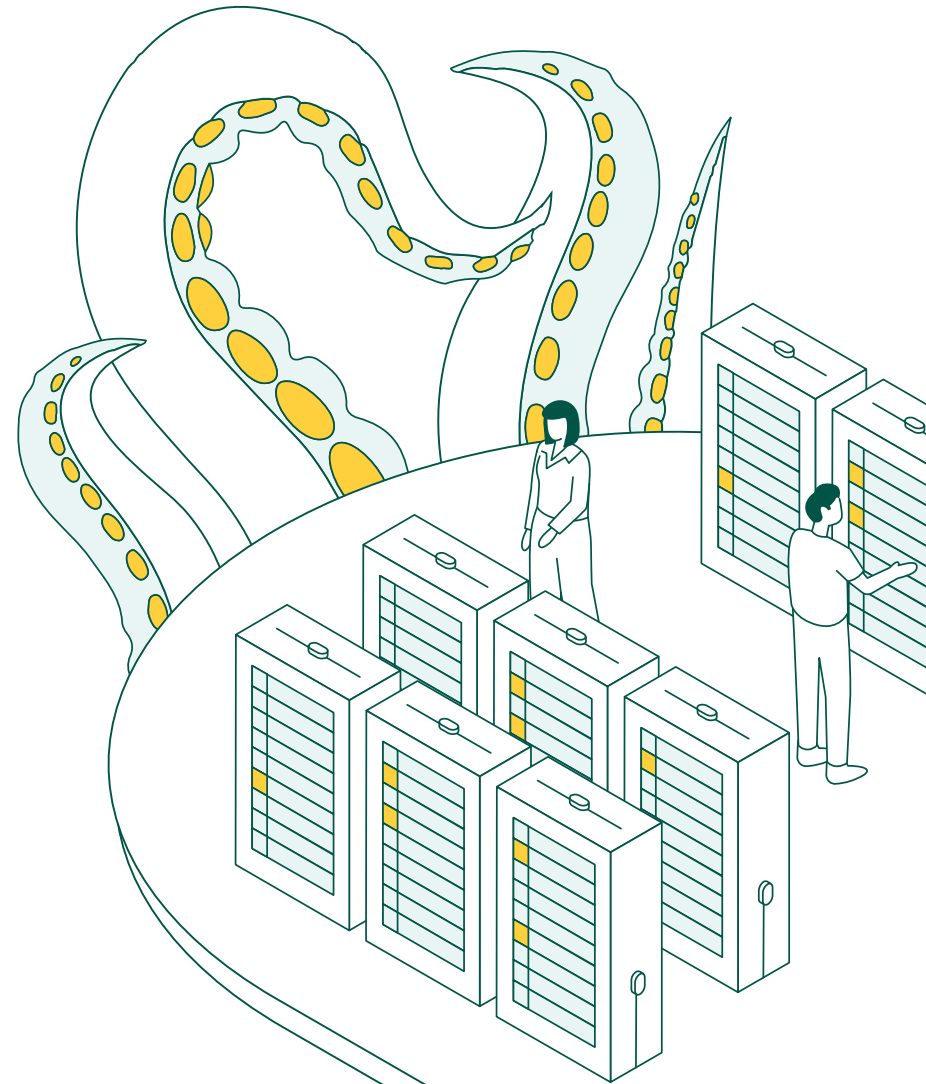
13 「クラウドでは自社のニーズに柔軟に対応できない」

勇者が、火を噴くドラゴンと戦い、恐ろしいモンスターが棲む海を航海し、迷宮に潜むヒュドラと対戦するといった、古代神話を聞いたことがあるかもしれません。

一方、IT 意思決定者の道のりは、神話のように上手くはいきません。

現代の“神話”とも言える誤解が、データセンターやオフィスのあちこちで聞かれることがあります。クラウドにまつわる噂を耳にするため、自社ではクラウドの様々なメリットを活用できないでいるかもしれません。

クラウドに大きな力があることは明らかです。クラウドは変革をもたらし、フォーチュン 500 社だけでも、クラウドのイノベーターと先駆者は 2030 年に 1 兆ドル以上の EBITDA を獲得すると予想されています。



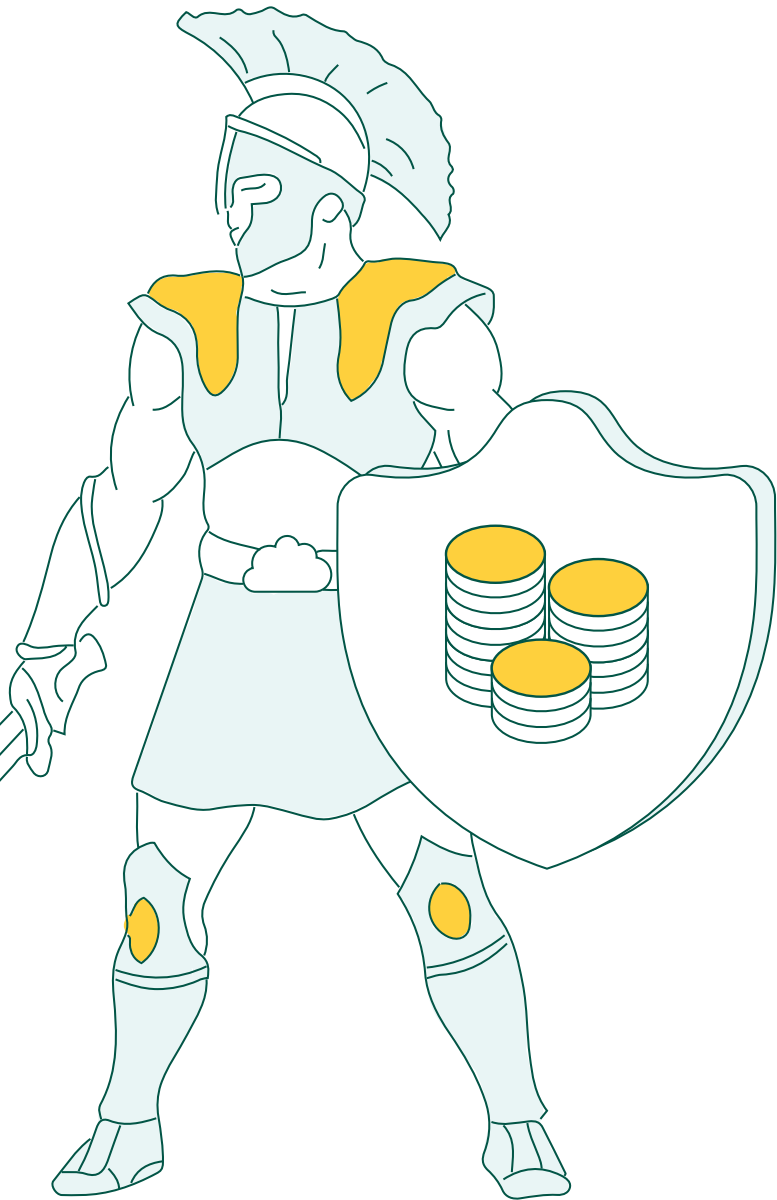
クラウドは、今日のデジタル組織を動かす原動力となっている」と語っています。

SID NAG 氏は

Gartner 社のリサーチ バイス プレジデント

フォーチュン 500 だけでなく、S&P 500、Inc. 5000、もしかしたら Indy 500 でさえも、クラウドの柔軟性、信頼性、拡張性といったメリットをフルに活用してこそ、この壮大な目標を達成できます。組織はクラウドを採用することで、次世代のビジネス チャンスを獲得できるようになります。

2021 年の調査によると、現在、約 50% の組織がクラウドファーストのアプローチを採用し、約 30% が自社はクラウド ネイティブだと回答しています。さらに 37% が 3 年後以降にクラウド ネイティブになることを目指しています。



コスト管理は、多くの IT 意思決定者にとって至難の課題であり、クラウド導入組織の 30% が最大の懸念事項としています。多くの場合、クラウドベースの組織は複数の方法でコストや他のリソースを節約しています。例えば、ソフトウェアとネットワークの自動更新によって、時間がかかり、ミスが起きやすく見落とされがちな手作業をなくし、セキュリティを向上しています。

これにより、スタッフはやりがいのある仕事に専念でき、従業員の満足度も向上します。クラウドの導入は IT 部門全体に「大幅な効率化」をもたらす可能性があります。とはいえ、クラウドの利用を IT 部門に限定してしまうと、組織がこのアーキテクチャから最大限の価値を引き出すことはできません。

さらに、多くの企業では、SaaS 型クラウドベースのインフラコストを CapEx から OpEx に移行しています。オンプレミスのデータセンター（資本支出）とは異なり、企業は運用経費を損益計算書に計上し、その年の税金から控除することができます。

# 「死と税金からは逃げられない」と言われるように、神話のような誤解についても、逃げずに向き合う必要があります

IT リーダーが死と税金に抵抗できるかはともかく、テクノロジーの誤った情報には共に立ち向かうことができます。神話の勇者のように、クラウドにまつわる 5 つの神話の間違いを暴いていきましょう。

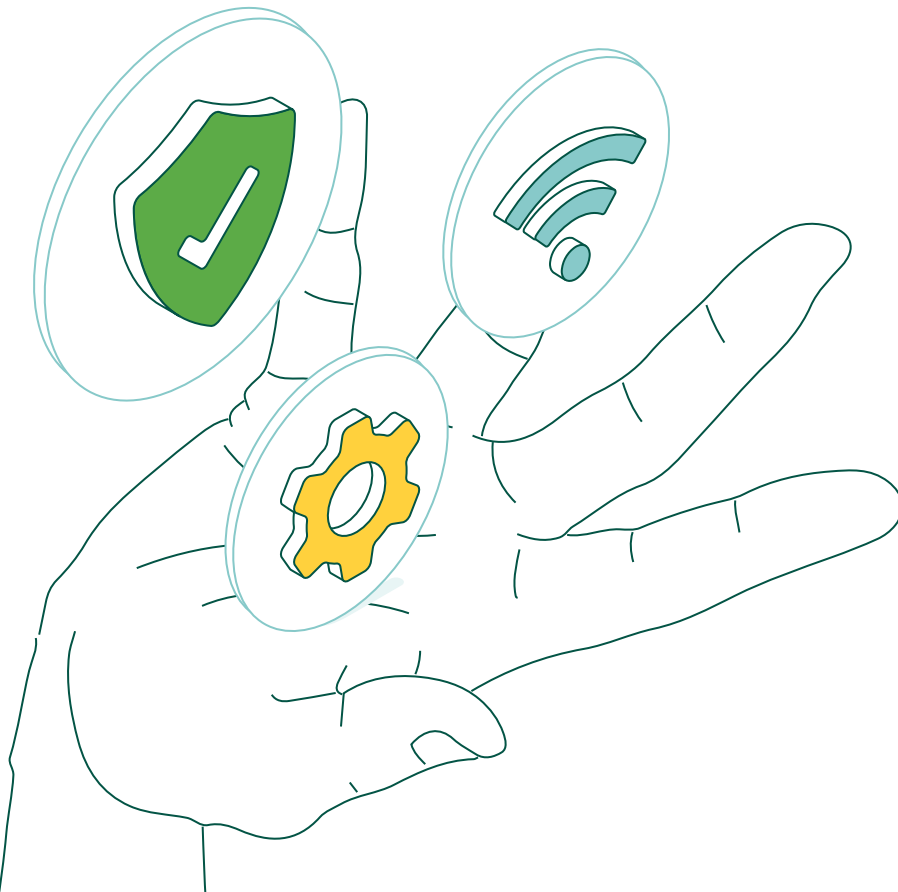
## 神話 1

# 「クラウドは自社で コントロールが できない」

いいえ、そんなことはありません。データセンター、ネットワーク、メンテナンス、トレーニング、専門知識など、他社の継続的な投資を活用しながら、各リソースの使用方法を管理するためのコントロールとキャパシティも獲得できます。実際にクラウドを活用したほとんどのチームが、全体的に管理、可視性、コンプライアンスが向上したと報告しています。

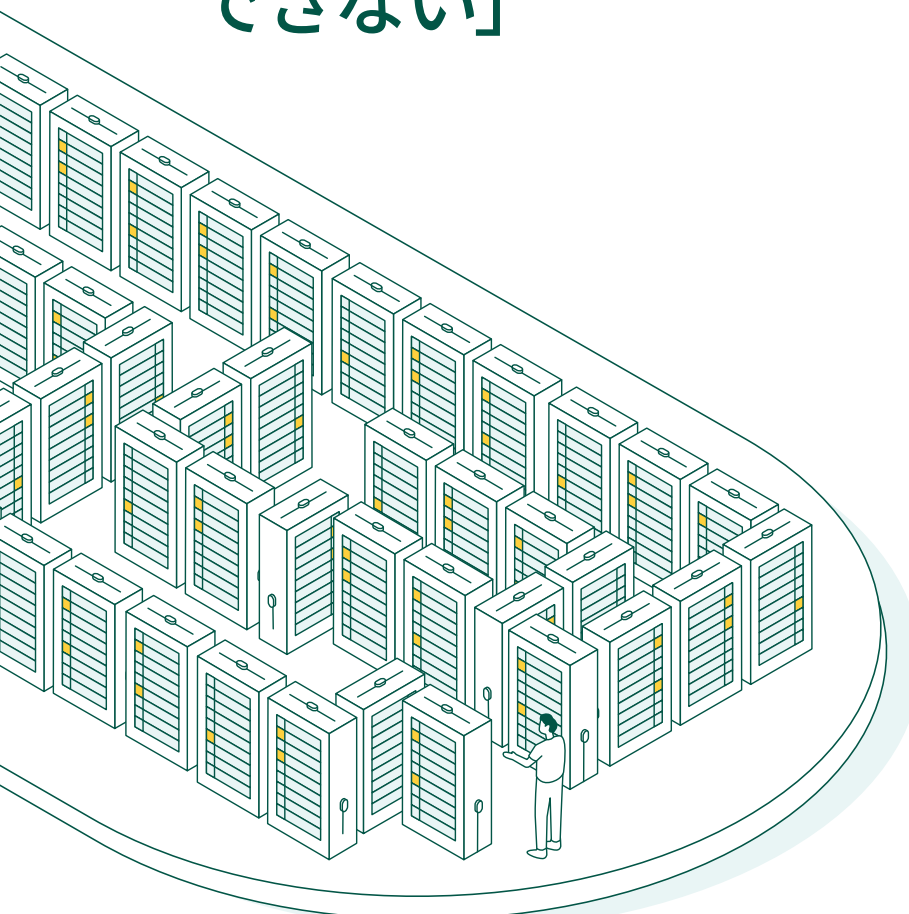
これは、大きなメリットと言えます。チームは、インフラストラクチャの基本的な保守と供給に力を注ぐのではなく、セキュリティ、最適化、次の計画など、より変革的なタスクに取り組めるようになります。

実際、Cisco Meraki クラウド プラットフォームを利用するなら、自社ですべてのデータを所有し、毎週 230 億ものやり取りを行う Meraki との連携によってメリットを得、業界最大規模のクラウド ネットワーキング サービスを実現できます。



## 神話 2

# 「自社環境が複雑すぎてクラウド化できない」



現在インフラがどれほど複雑化していても、クラウドを採用することで、あらゆる業種や規模の組織が、ネットワーク コンピューティングのニーズの急な変化に応じてスケール アップまたはスケール ダウンする能力を自動的に高め、アジリティとイノベーションの向上、自動化と拡張性の強化を実現できます。

このような利点から、企業は 2021 年にクラウド インフラに約 740 億ドル (2020 年比約 9% 増) の資産を投じました。2026 年までに、パブリック クラウド支出が世界の企業 IT 支出全体の 45% 以上を占めるようになる (わずか 5 年前は 17% 未満)、と Gartner 社は予想しています。

Meraki では長年にわたり、大規模な政府機関、フォーチュン 500 企業、ウォール街の金融会社、メイン ストリートの企業、製造業、大学などあらゆる企業と連携し、非常に複雑なシステムから比較的シンプルなシステムまで様々な設定をサポートしてきました。



## 神話 3

# 「規制産業の企業はクラウド化できない」

オフサイトのデータやインフラを、パートナーの拠点に移動させることが難しい場合があります。医療や金融などの規制産業や、機密情報を定期的に保管・送信する業種では特にそうです。例えば、住民の社会保障番号を扱う政府機関や、学生の個人情報を扱う教育機関などが含まれます。

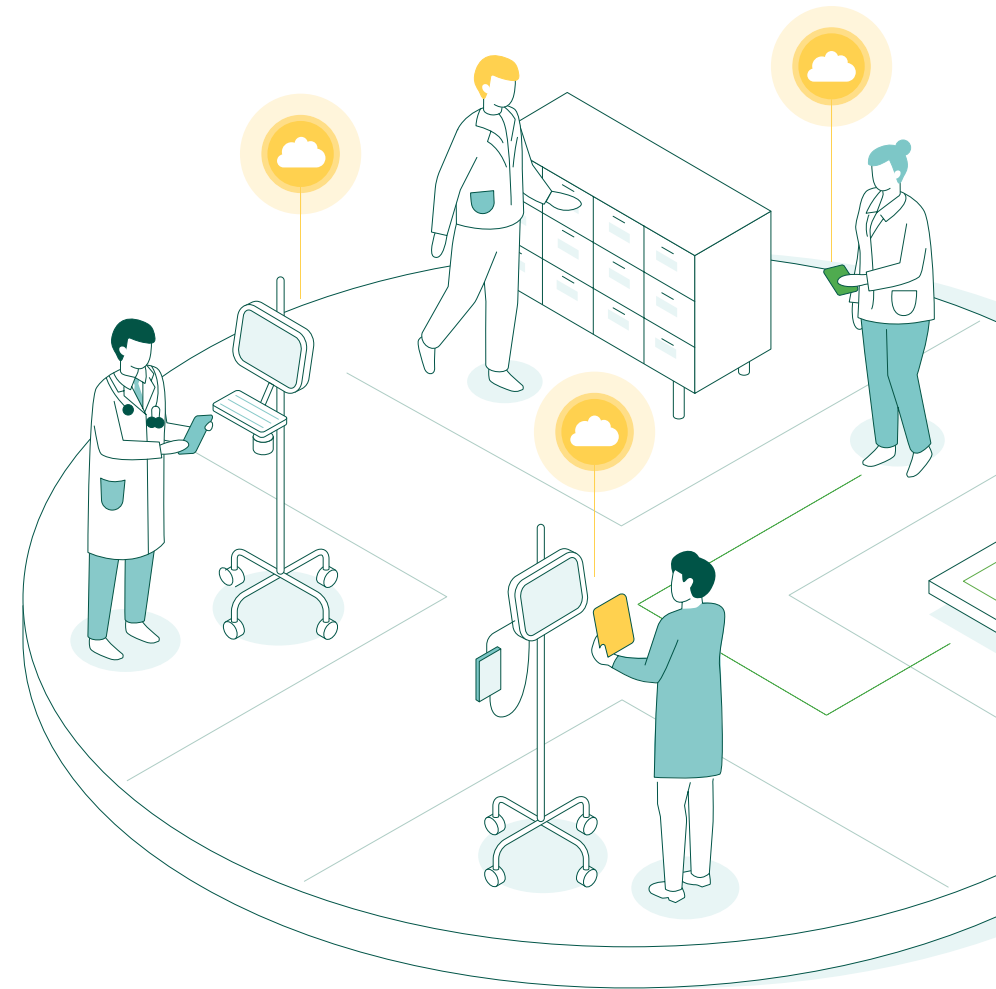
一方で、米国連邦政府がクラウドにかかる費用は、2020年の69億ドルに対し、2021年には 81億ドルになると予想されていました。Capgemini社によれば、パンデミックに加え、散発的に発生して終わることのないサイバーセキュリティ戦争や、人材確保のニーズによって拍車がかかり、医療機関でも 急速にクラウドを導入するようになっています。

Merakiのお客様の市場は、政府、金融、医療、小売など多岐にわたり、厳しい規制遵守が求められる 欧州連合 で事業を展開するお客様も多くいます。

## 導入事例 : KINDRED HEALTHCARE 社

急性期医療サービスを提供する [Kindred Healthcare](#) 社では、複雑で管理しにくいネットワークを置き換える必要がありました。そのネットワークは、2,000 以上の拠点でオンサイトの設定が必要でした。Kindred 社は、サイト間 VPN に関する政府の基準を満たしていた Meraki プラットフォームを採用しました。このネットワークでは、プラグアンドプレイデバイス、シームレスなファームウェアとセキュリティのアップデートを利用できます。管理しやすいクラウドベースのネットワークで、帯域幅の使用状況を詳細に把握し、制御できます。

現在、Kindred 社はアクセスをカスタマイズし、ゼロタッチ デプロイメントを提供しています。一元管理のダッシュボードから遠隔地の支店と安全に接続できるため、時間と経費を節約でき、不必要な複雑さが解消され、現地に行く必要もなくなりました。

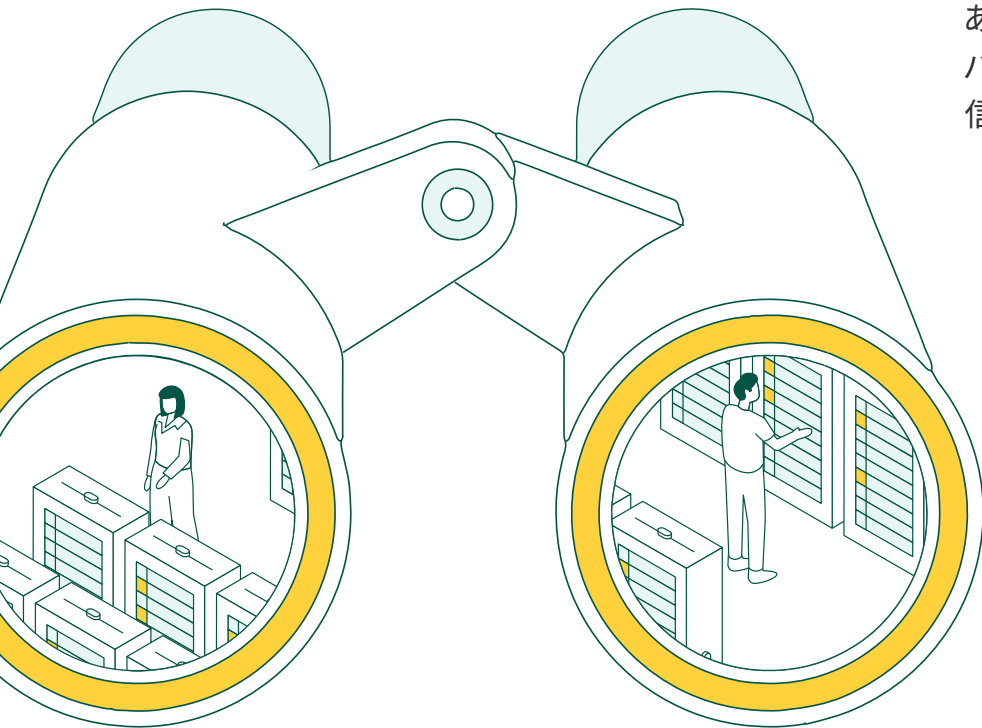


## 神話 4

# 「自社のデータセンターに保管しないと信頼性やレジリエンスが得られない」

前述のとおり、クラウド化とは、すべてをオフサイトに移行することではありません。保管方法を自由に組み合わせ、機密性の高いデータとアクティビティをデータセンター内のプライベートクラウドに保管することも可能です。パブリック、プライベート、ハイブリッドのいずれのクラウドを選択するかに関わらず、クラウドの分散アーキテクチャと、プロバイダーによるメタルとシリコンへの多額の投資は、インフラ内の膨大な量の仮想サーバーにより、ビジネスのレジリエンスを向上させます。

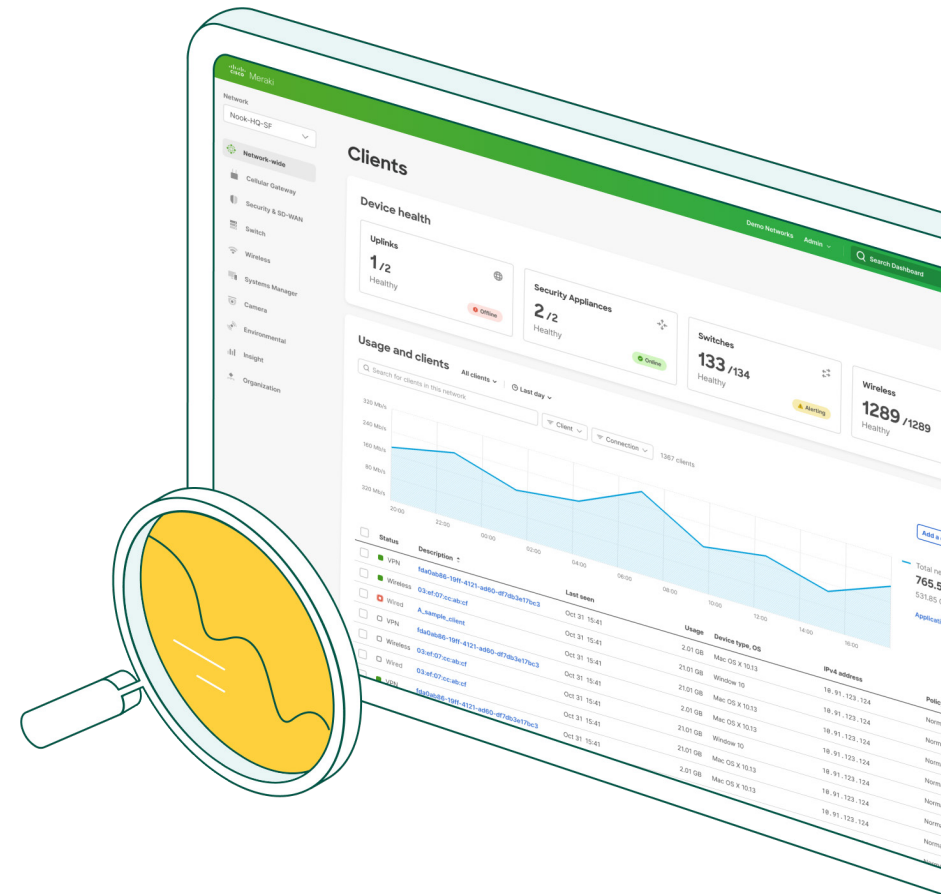
計算能力とデータに対する需要の急増に耐えるように設計されており、同時に従業員や顧客によるデバイスの大量利用も可能にします。サービスレベル契約は信頼性をコントロールするものではありませんが、契約上の監視手段ともなります。ネットワークとデバイスを可視化するダッシュボードは、懸念事項を早期に警告し、信頼性とパフォーマンスを向上させます。



## MERAKI ダッシュボード

Meraki では、ネットワーク上のすべてのデバイスに光を当てます。ダッシュボードでは、センサー、アクセスポイント、スマートカメラなど、接続デバイスに対するカスタマイズ可能なアラートにより、分散型ネットワークの可視化とコントロールが可能です。

**Penn Mutual** 社では、Meraki MX セキュリティ アプライアンスと Meraki ダッシュボードのテスト実行を承認した後、ダッシュボードを使って 42 の支部オフィスの Meraki MX アプライアンスをさらに設定しました。その後、本社からリモートでデバイスの管理を行いました。Penn Mutual 社は、新しい無線ネットワークを可視化できただけでなく、従来の通信プロバイダーによる高額な VPN サービスにはない、信頼性とレジリエンスを得ることができました



## 神話 5

# 「クラウドでは自社の ニーズに柔軟に対 応できない」

クラウドの強みは柔軟性です。ビジネス ニーズの変化に応じて、コンピューティングと帯域幅を適切にコントロールできます。予算を柔軟に活用できます。社員や顧客がサービスを必要としているかどうかに関わらず、データ センターに置くサーバーを大量に購入して、電力も人員も消費してしまうのとは対照的です。

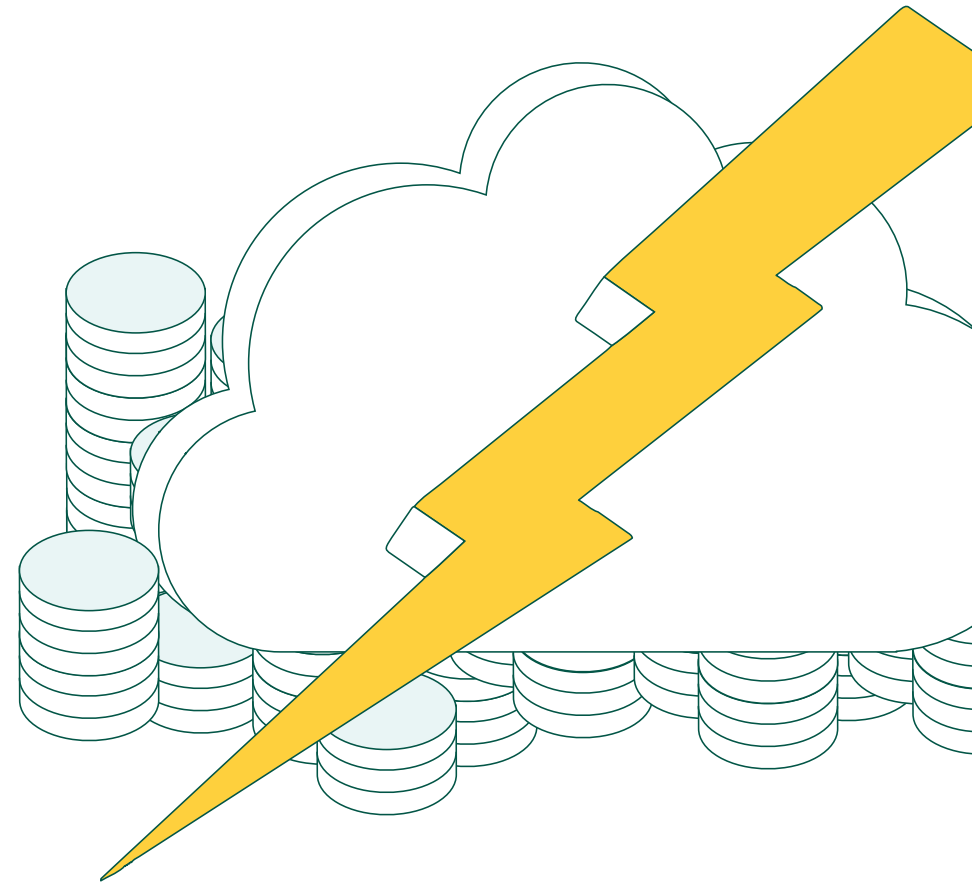
一例として、医療機関は、主要な目標を実現するためにクラウドの導入が必要であることを認めるようになってきました。例えば、必要な通院を減らすという目標を達成するには、クラウドを利用して、人工知能、機械学習、遠隔医療などのツールを最大限に活用し、ウェルネス、慢性疾患管理、患者のエクスペリエンスの向上に取り組む必要があります。クラウドの柔軟性を認めているのは、医療技術のリーダーだけではありません。

クラウドは、オンプレミスのサーバーよりも、価格においても使い方においても柔軟性があります。そのため、Meraki では、ご要望に合うように、SaaS で、クラウド 管理型プラットフォームを提供しています。

エコシステム パートナーが、金融サービス、政府、教育、ヘルスケア、製造、小売などあらゆる業種向けに、ハイブリッドワーク、スマートスペース、コラボレーションを促進するアプリケーションを提供しています。

クラウドは、ギリシャ神話のミダスのように、触れるものすべてを金に変えることはできません。しかし、デジタル変革に関しては、クラウドが変化の基盤となります。

神話の勇者が迷宮を突き進むように、IT 意思決定者が先頭に立って、誤った情報の迷路を抜け出すことができます。クラウドの真実と、クラウドが現代の組織にもたらす力を見つけ出し、宝を手に入れることができます。





# クラウドの誤解を 解きましょう

詳しくは、[Meraki.com](https://meraki.com) をご覧ください

